

学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.8 平成27年2月20日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

02月5日(木) 15:55~16:50 (50分間)

医療講演会「看護師を目指す後輩たちへ」 講師：新潟市民病院看護師 山賀誠子様



【新潟西高等学校の先輩】



【先輩のお話を熱心に聴講】

今回の講演会の講師は、本校卒業生で現在は新潟市民病院に勤務されている山賀先輩でした。高校生時代の勉強方法やクラブ活動での悩み、また、現在の病院勤務の様子や、毎日が勉強の連続であることなどをお聞きしました。年齢の近い先輩から直接お聞きして、現在の高校生活をどう過ごすかということを考える良い機会になりました。

02月17日(火) 15:55~17:25 (90分間)

医療講演会(1年生対象)「小児看護におけるチームアプローチ」

講師：新潟医療福祉大学 健康科学部 看護学科准教授 松井由美子先生

今年も、新潟医療福祉大学の松井由美子先生から、「チーム医療」について御講義いただきました。今回は、「来年度に医療専攻を受講する予定の1年生普通科学励コース15名」と、「1年生普通科医療系希望の15名」との、合同開催でした。松井先生は終始朗らかに、そして情熱的に、虐待されている子どもの実態や、心や身体に病気や傷を持つ子どもの看護について、お話してくださいました。



【キワニスドールと松井先生】



【熱心に受講する1年生30名】

「キワニスドール」
とは・・・
小児看護師が使う道具の一つであり、ふわふわの真っ白な人形です。これを自分に見立てて、子ども自身から顔や身体の絵をペンで書いてもらい、注射・手術などの処置の説明の際などに使用するものです。



【連携総合ゼミ体験・アイスブレイク】

「専門職連携協働」とは・・・

- ★「患者・サービス利用者のために」
- ★「数多くの専門職が連携し」
- ★「お互いを理解し、学び合い」
- ★「専門性を発揮しあって」
- ★「サービスを提供すること」です。

この中で最も重要なのは、

- ★「お互いを理解し、学び合い」

です。これを身をもって感じるために、

【連携総合ゼミ体験・アイスブレイク】「メンバーの共通点を探そう」・「グループなんでもランキング」・「切っても切れない仲」の3活動を体験しました。

各6名の5グループ学習。ふだん、あまり面識のない生徒同士でしたが、活動するうちに、どんどんうち解けていきました。また、同じことをしても一人一人の個性が現れ、自分と他者との違いや、その理解の重要性、また、各人の特性を生かしてチームワークすることの素晴らしさを理解しました。上の写真は「切っても切れない仲（1枚の紙をグループ内で順番に指で切っていくって、どの班が1番長く切ることができるかを競う活動）」の結果を比較している場面です。

（生徒の感想）・・・松井由美子先生から、「チーム医療」「小児看護学」について詳しく聞くことができました。医療は速いスピードで進化していることがわかりました。在宅医療やDMATなど、今まではあまり聞いたことがない医療チームができて行動するようになったことがわかりました。「小児看護学」とは、子どもとその家族を安心させるための看護学だということがわかり、泣く子どもや病院を怖がっている子どもに、キワニスドールをはじめとして、プリパレーションを使い、医療のお世話をすることがわかりました。今の時代では、専門職を互いに理解し、助け合い続けることが大事なのだとわかりました。これからは、チームの1人として頑張りたいと思いました。

平成26年度「第2回医療専攻発表会」御案内

- 1 目的： 「医療専攻」第2期生として、1年生～2年生の医療専攻プログラムを通して学習したこと・考えたことを各人が発表し、将来、医療従事者として活躍する決意を新たにします。
- 2 日時・場所： 平成27年3月25日（水） 新潟西高等学校
第1部 13:00～14:30 視聴覚教室（特別棟4階）
第2部 14:40～15:30 社会科教室（特別棟3階）
- 3 内容： 第1部 パワーポイントを使っての生徒12名の口頭発表会（90分）
挨拶・御紹介等10分 + 発表60分（5分×12人）+ 講評20分
第2部 ポスターセッション（50分）
- 4 参加者：
（講評） 新潟大学医学部保健学科・同大学院保健学研究科
看護学専攻（母性看護学、助産学） 佐山光子 教授

（発表） 2年生学励コース医療専攻生徒 12名

（招待） 発表者の保護者、今まで講演・見学を依頼した大学及び病院の関係者、「医療専攻便り」を発送している中学校関係者、本校PTA役員・後援会役員・学校評議員、報道各社をお招きして実施します。